

# YAMAHA

極太タイヤを装備した  
新しいアウトドアライフを開く  
ヤマハトレール『TW200』  
新発売について

昭和62年3月

**ヤマハ発動機株式会社**

本社広報室 ● 〒438 静岡県磐田市新貝2500 TEL.05383

／東京広報室 ● 〒104 東京都中央区銀座

TEL.03

当社では、オン・オフ路面を選ばぬ乗りやすさでモーターサイクルを操る楽しさと新しいアウトドアライフの魅力を広げるユニークなトレールバイク、ヤマハトレール『TW200』を4月5日より新発売いたします。

このニューモデルは、極太の前後タイヤとトルクフルな4サイクルエンジン、そして52°の大きなハンドル切れ角により、さまざまな地形やコンディションの路面で、すばらしいトラクションと走行安定性を発揮します。

しかもオフロードでの高い走破性にとどまらず、オンロードを走行する際の快適性を合わせ持っている点が新しい特長です。足着き性のよいシート高の設定やセルフスターターの採用による楽な始動、リヤキャリアの装備などに見られるように、使いやすさを重視した設計と相まって、幅広い用途でハイレベルな走りを楽しめるものとなっています。

なお、このほどバイクによる北極点遠征に出発した風間深志さんが、不整地における走破性を見込んで、この『TW200』をベースとしたマシンで北極点踏破に挑んでいます。

#### 記

名 称： ヤマハトレール「TW200」

発 売 日： 昭和62年4月5日

標準現金価格： 299,000円

(北海道、沖縄、および離島を除く)

カラーリング： ホワイト／チャピィレッド

ファラウエーブルー (発売は4月下旬)

販 売 計 画： 2,000台 (年間、国内)

## 開発の狙い

### ●マシンを操る楽しさ+アウトドアライフのツールとして

オフロードモデルの需要は、ここ3年ほど大きな変化が見られませんが、この市場の活性化を図るために開発したのが、新しいタイプのヤマハトレール『TW200』です。

オフロードモデルにおける最近の傾向は、200cc~250ccのジャストサイズのモデルに人気が集まってきており、また用途についても、林道等でコーナリングを競うような乗り方から、エンデューロレースに出場したり、自然のふところ深く分け入ってアウトドアライフを楽しむといったふうに使いつの間に広がってきています。

新時代のヤマハトレール『TW200』は、こうした最近のユーザーニーズを考えて、トレールの原点ともいえるべき“モーターサイクルをダイナミックに操るスポーティな楽しさ”と“アウトドアライフの魅力を広げるツール”をコンセプトに、開発を行なったものです。

従来のオフロードモデルでは体験できなかった新しいオフロードの世界を開拓するために、タイヤのグリップ力の向上を図り、思い切った極太のワイドタイヤを前後輪に採用、大きなハンドル切れ角、ショートホイールベース、さらには伸圧独立減衰機構を備えたモノクロスサスペンション、足着き性のよい低シート高などを設計に盛り込み、乗りやすさと扱いやすさのマッチングを図りました。

さらに、幅広い需要を確保できるよう、オンロードにおける快適性も重視し、幅広い用途を満足させるポテンシャルを持たせています。

## 《主な特徴》

### 1. 中低速重視の4サイクル単気筒エンジン

エンジンは力強くフラットなトルク特性に富む4サイクル・SOHC・196cc単気筒を採用しています。このエンジンは限定販売の「BW200」をベースとしたものですが、エアクリナーの容量やエキゾーストパイプのサイズを増大し、一層のトルク特性の向上を果すなど、パワーの出方に余力を持たせています。

また、このエンジンには振動低減のためにバルンサーを内蔵しているほか、CDI点火を採用して、メンテナンスフリー化にも努めています。

### 2. 新設計の高地補正機能付きキャブレター

山岳地での走行を配慮して、新設計の高地補正機能付きの新型キャブレターを採用しました。メインジェット以外に、独立した高地補正用のエアジェットを装備しているのがこの新型キャブレターの特長で、平地から高地へ上がった際に、エンジンの調子が乱れたり、パワーが落ちたときは、ノブを引くだけでプランジャーが作動し、気圧の低い高地に適するよう混合気を薄くするシステムです。

### 3. セル、キック併用の始動装置

エンジンの始動方式はセルフスターターとキックスターターの併用式で、足場の悪い場所での扱いやすさを高めています。セルフスターターは、サイドスタンドを上げ、ギアの入っている時は、クラッチを切ってからでないとスターターが作動しないシステムを採用しています。

#### 4. 使いやすい5速トランスミッション

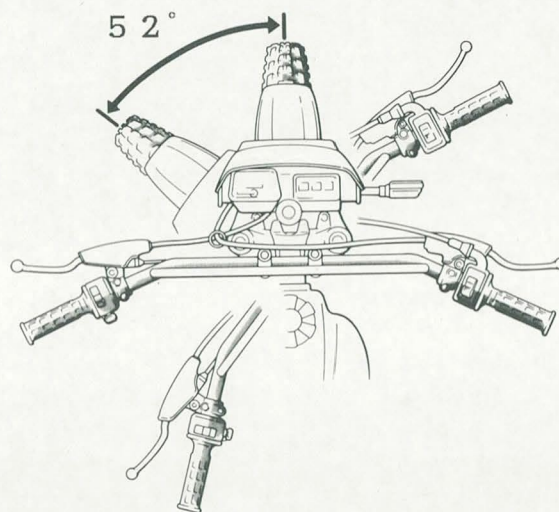
トランスミッションは5速で、オフロードからオンロードまで、さまざまな走行条件に向くようにギヤ比を設定、出力側のギヤ軸は軸受けを3点方式とし、信頼性を高めました。またグリップ力にすぐれたワイドタイヤの採用にともないクラッチの負担が増加するため、オイル回り、スプリング回りを見直すことでクラッチの耐久性を増しました。

#### 5. 高張力鋼管ダイヤモンドフレーム

フレームは、高張力鋼管を使用したシングルダウンチューブのダイヤモンド型で、軽量かつ堅牢です。

#### 6. 切れ角 $52^\circ$ のハンドルとショートホイールベース

ハンドル切れ角は左右 $52^\circ$ と大きく取り、 $26^\circ 30'$ のシャープなキャスト角度に加え、 $1,330\text{mm}$ のショートホイールベースの設定により、低速およびラフな路面での操安性を向上、軽快なハンドリングが味わえるものとなりました。



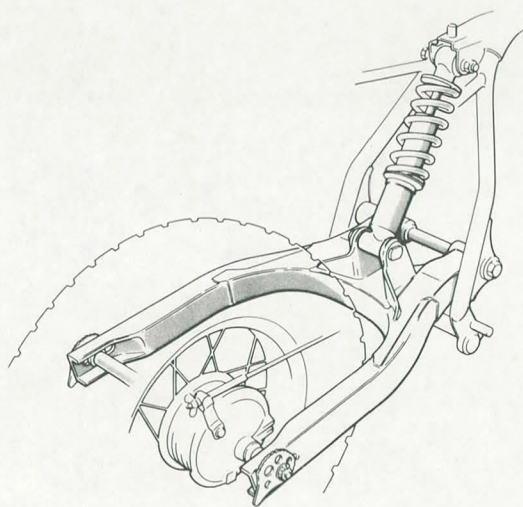
## 7. 伸圧独立減衰機構のリヤサスペンション

リーディングアクスル型フロントフォークとリヤのモノクロスサスペンションが、路面の変化に応じて効果的に作動し、快適な乗り心地を確保します。

ホイールトラベルは、フロントが160mm、リヤが150mmです。

またリヤサスペンションは、ダンパーユニットの伸び側と圧側のオイル通路を独立させ、伸び側、圧側それぞれの減衰特性を別々にコントロールすることで、ショックに対する強弱の反応が比例特性に近い安定した減衰力が得られる機構となっています。

これにより、サスペンションが速く揺動するときは腰が強く、ゆっくり作動するときにはソフトに働き、乗り心地を大きく向上させています。

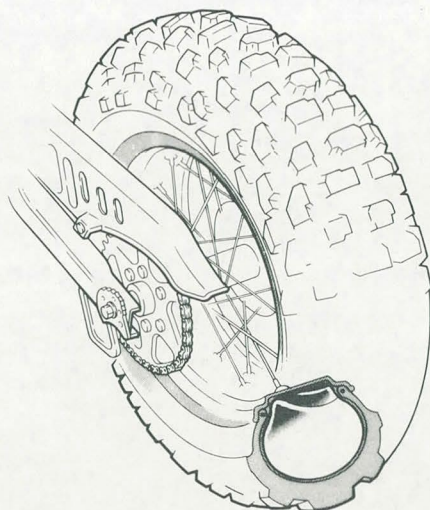


## 8. オン、オフ両用の極太タイヤ

『TW200』に採用している極太タイヤは、フロントが130/80-18のワイドサイズ、そして駆動輪となるリヤタイヤは180/80-14で、これは、あの「V-Max」のものよりさらに幅広なビッグサイズです。

これらは、オフロードにおけるグリップ力を重視して開発を進めたものですが、一方、オンロードにおいても快適な走行フィーリングが得られるオン、オフ両用のタイヤを完成することができました。またストレート、コーナリング、ジャンプ等でもクセのないスムーズな走行性を生み出しています。

なおフロントホイールにはアルミ製のワイヤースポークを採用しています。



## 9. 12ボルト7アンペアのバッテリー

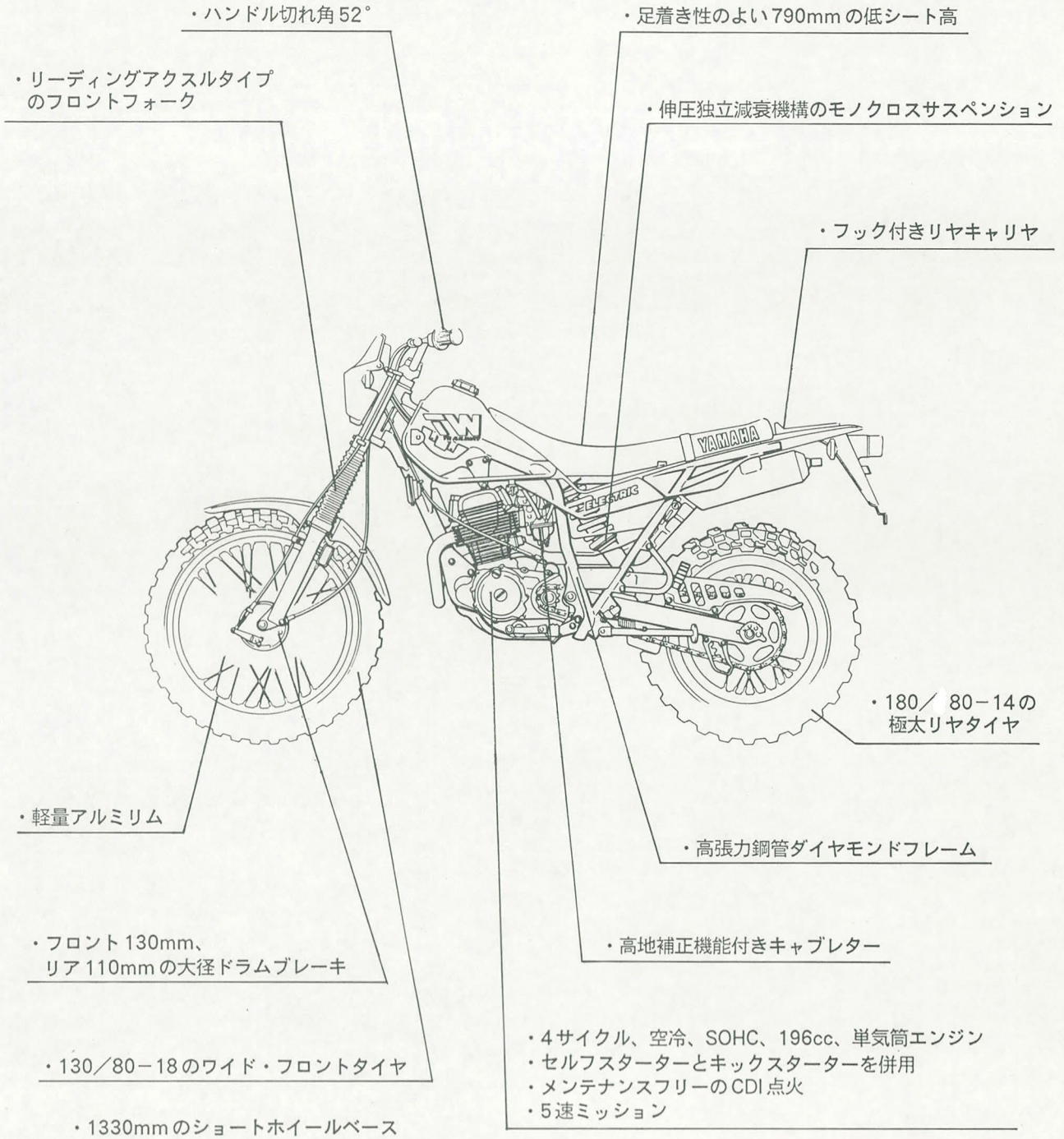
ヘッドライト、フラッシャー、ストップランプなど電装関係は、12ボルトシステムとし、バッテリーは12ボルト7アンペアと、大容量のものを採用しています。

## 10. その他の特長

大型7リットル容量のフェエルタンク、合成樹脂製のリヤキャリアを採用。

ブレーキはフロント130mm径、リヤ110mm径のドラム式で、ドラムはウエット走行に強いヤマハ独特の防塵防水構造としています。

## ヤマハトレール『TW200』フィーチャーマップ





## ヤマハトレール「TW200」仕様諸元表

名 称		ヤマハTW200				1次減速機構		ギ ャ					
型 式		2JL		動 力 伝 達 装 置		同 上 減 速 比		73/22	3.318				
寸 法 及 重 量		全 長				2090mm		2次減速機構		チェーン			
		全 幅				815mm		同 上 減 速 比		45/14	3.214		
		全 高				1115mm		ク ラ ッ チ 型 式		湿式多板			
		シ ー ト 高				790mm		変 速 機		形 式		常時噛合式前進5段	
		軸 間 距 離				1330mm				操 作 方 法		左足動 リターン式	
		最 低 地 上 高				250mm				変 速 比 1 速		34/12	2.833
		乾 燥 重 量				118kg				" 2 速		34/19	1.789
						" 3 速				29/22	1.318		
						" 4 速		26/25	1.040				
				" 5 速		23/28	0.821						
性 能		燃費(舗装平坦路)		55Km/ℓ (50Km/h)		フ レ ー ム 形 式		鋼管ダイヤモンド					
		最小回転半径		1.9m		走 行 装 置		キ ャ ス タ ー					
		制動停止距離		14m (50Km/h)		ト レ ー ル		26° 30'					
原 動 機		原 動 機 種 類		4サイクル、SOHC、2バルブ		タイ ヤ サ イ ズ		前		130/80-18 66P			
		気 筒 数 配 列		単気筒				後		180/80-14 78P			
		総 排 気 量		196cc		制 動 装 置		形 式		前	ドラム(リーディングブレーキング)		
		内 径 × 行 程		67.0mm×55.7mm				後		ドラム(リーディングブレーキング)			
		圧 縮 比		9.5 : 1		ブ レ ー キ 胴 径 又 は デ ィ ス ク 有 効 径		前	130mm				
		最 高 出 力		16ps/7500rpm		懸 架 装 置		懸 架 方 式		前	テレスコピック		
		最 大 ト ル ク		1.6kg・m/6500rpm				後		モノクロスサスペンション			
		機		始 動 方 式		セル・キック併用式		緩 衝 装 置		緩 衝 方 式		前	オイルダンパー、コイルスプリング
				潤 滑 方 式		ウエットサンプ				後		ガス、オイルダンパー、コイルスプリング	
エンジンオイル容量				1.3ℓ		ホ イ ール ト ラ ベル		前	160mm				
燃 料 装 置		エ レ メ ン ト 種 類		湿式ウレタンフォーム		灯 火 及 照 明		ヘ ッ ド ラ ン プ バ ル ブ 種 類		ハロゲンランプ			
		燃 料 タ ン ク 容 量		7.0ℓ				ヘ ッ ド ラ ン プ		12V 35W/35W			
		キャブレター形式		Y24P				テ ー ル ラ ン プ		12V 5W×1			
								ス ト ッ プ ラ ン プ		12V 21W×1			
電 気 装 置		点 火 方 式		C.D.I.		フ ラ ッ シ ャ ー ラ ン プ		12V 23W×4					
		点 火 プ ラ グ 型 式		8EA,24ES-U		メ ー タ ー 装 着		速 度 計					
		バ ッ テ リ ー 容 量		12V.7Ah (10Hr)									



ヤマハトレール『TW200』